

2003-2004



岐阜中週報

Lend a Hand

手を貸そう R.I.会長 ジョナサンB.マジアベ

会長	森 益 男
幹事	長 井 義 夫
発行者	ウェブ委員会
委員長	篠 田 泰 成
例会	毎週火曜日 12時30分
会場	岐阜ルネッサンスホテル
事務局	岐阜市神田町 2-2
	電話 264-9235 番

平成 15 年 10 月 21 日(火)
第 542 号
第 618 回例会

会長挨拶

会長 森 益男

先週は中クラブにとって喜ぶべきことが2つばかりございました。

1つめ。伊藤会員のお嬢様の結婚披露宴が10日の木曜日に催されました。長井幹事と2人でクラブを代表して出席してきましたが、花嫁の父の勉強も多少なりとしてまいりました。伊藤会員、改めましておめでとうございます。

2つめ。8日の中クラブのゴルフコンペで、私が久しぶりに優勝いたしました。それも中根、加納の両シングルさんを抑えてのベストグロスでの優勝という立派なもの。準優勝の篠田さんもおめでとうございます。

さて今年も赤い羽根募金が始まりました。戦後、何もない時代から始まり半世紀以上、21世紀になっても続いていることは当時だれも思わなかったことでしょう。ただ、そこに込められた心やさしさは当初とは比べべきもないと思われます。初めて赤い

羽根が登場した1948年、当時の新聞は各地で1枚10円の真紅の羽根が文字どおり飛ぶように売れていく様を伝えています。

朝日新聞社発行の「値段史年表」によると食パン一斤が6円24銭、国鉄の入場券が3円の時代です。当時の人々がどんな思いで10円を出したかを考える時、私たちの心のやさしさは今どこにいったのかと思わざるをえません。

マンネリ化した募金のあり方にも問題があるかもしれません。としても、私たち現代の日本人が、懐は豊になったけれども思いやりや助け合うといった美德を失いつつあるといわれても仕方ないような気がします。今年も中クラブはささやかですが赤い羽根



Copyright(C), 中央共同募金会

募金に協賛いたしますが、街頭に立つ子どもたちのことを考える時、そんなこともお感じいただけたらと思います。

友情と奉仕の灯を スマイルボックス委員会

森 益男君

10月8日の中RCのゴルフコンペにおいて、久しぶりに優勝させていただきました。ベストグロスも頂き大喜びです。

内木 一博君

昨日13日に四十九日の法要を済ませました。葬儀の際には会員の皆様にはお世話になりました。

大橋 哲也君

10月1日に黒野店 開局させていただきました。近くにおよりの際はおよびり下さい。

高橋 慶太郎君

食欲の秋と言いますが、太り過ぎに注意しましょう。

結婚記念日おめでとうございます

篠田 日出男君

前例会の記録

平成15年10月14日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 我等の生業

[ゲスト]

[ビジター] 篠田元弘君(岐阜RC)

他1名

[出席] 会員総数42名

(出席免除0名、猶予0名)

本日出席27名 64.28%

[行事] 会長挨拶・食事・幹事報告・

委員会報告・ニコボックス報告

[卓話] 『新入会員卓話』

市川雅清会員、渡辺成洋会員

次回予定 第619回

平成15年10月28日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 卓話「ワインの話あれこれ」

岐阜グランドホテル

ソムリエ 吉田佳孝様

担当 副会長